



社会福祉法人 大分県福祉会 大分市頭徳町 1-13-17 発行者 有松一郎 532-3472

# 新体制スタート 評議員決まる

福祉ニーズが多様化し複雑化していきな、社会福祉法人の果たす役割は益々重要になっており、法人の公益性や非営利性に見合う経営組織や財務規律の実現が求められている。なかでも、法人の組織のあり方、透明性の確保が取り上げられ、ガバナンスの強化が要求されている。

大分県福祉会では、従前より十三名の評議員による評議員会を組織し運営してきた。また、福祉会報やホームページを活用し、事業報告・財務諸表・福祉サービス運営委員会報告を

公開するなど、積極的な情報公開にも取り組んできた。

今回の社会福祉法改正の趣旨に沿って、第三者委員二名（前社会福祉協議会常務理事阿部俊作氏・元小学校長加藤恵子氏）を含む選定委員五名を選任し、平成二十九年二月二十四日評議員選定委員会において、平成二十九年四月一日から平成三十三年六月定時評議員会までを任期とする八名の新評議員を選任した。

## 新評議員 紹介



麻生 栄作氏 県議会議員



平岩 純子氏 県議会議員



仲元 研二氏 前西の台小学校長



秦 昭二氏 大分市保育協会会長 上野愛光保育園園長



育成会理事長 杉の木会理事長



齊藤 國芳氏 大分県手をつなぐ



岡村 邦彦氏 弁護士



衛藤 憲一氏 元民生児童委員 盲人福祉センター 所長代理

## 理事会・評議員会

平成二十九年五月理事会 平成二十九年五月三十日（火）に理事会が開催された。定款細則、平成二十八年年度事業報告及び決算報告、平成二十八年年度監査報告、評議員会の開催について審議がなされ、全ての議案が承認された。

平成二十九年四月、滝尾保育園は新園舎になった。木目を基調とし、ぬくもりが感じられる造りになっている。保育室や廊下の壁面も過度な装飾を避け、家庭的な雰囲気を用意している。

が、子ども一人ひとりが生き生きと活動していくことができる環境を整えていきたい。新しい園舎では、トイレに暖房機能を備えた便器を設置し、冬でも快適に使用することができ。また、乳児の保育室には床暖房を完備している。さらに、調理室はガラス張り、中の様子がよく見える。子ども達は毎日の給食やおやつを楽しみにして嬉しそうに眺めている。調理している姿をよく目にするようになったことで、作ってくれた人や食べ物への感謝の気持ちが高まってきたように思う。三・四・五歳児のクラスでは保育室にて炊飯し配膳するようにもなった。保育室に米の炊けた香りが



新園舎完成 滝尾保育園



広々とした保育室

●平成二十九年六月定時評議員会・臨時理事会 平成二十九年六月十五日（木）に福祉会会議室において、評議員会が開催された。仲元研二氏を議長に、議事録署名人に岡村邦彦氏・秦昭二氏を選任した後、平成二十八年年度事業報告及び決算報告、平成二十八年年度監査報告、理事及び監事の選任について審議がなされ、すべての議案が承認された。また、評議員会終了後、理事長選任のための理事会が開催され、有松一郎

氏が理事長に選任した。なお、理事監事の任期は平成三十一年六月定時評議員会までである。

平成二十九年四月、滝尾保育園は新園舎になった。木目を基調とし、ぬくもりが感じられる造りになっている。保育室や廊下の壁面も過度な装飾を避け、家庭的な雰囲気を用意している。

南側に残した旧園舎もホールとして生まれ変わった。こちらでは、毎週水曜日に行われている英語遊びや、発表会などの行事を行う。ホールの隣には一時預かりの保育室と子育て支援の部屋も設けている。今年四月からスタートさせた一時預かり事業は当初から問い合わせが多く、現在では二十名以上の登録がある。地域との関わりにおいても、子育て相談や子育て広場「つぼみ」をさらに充実させ、地域の子育て支援にも力を入れて取り組んでいきたい。

皆様におかれましては、平素より大分県福祉会に対し、多大なご支援・ご協力をいただき、心より厚く感謝申し上げます。 さて本年度は、これまで進めてまいりました社会福祉法人制度改革の仕上げの年度となりました。新たな評議員選任による、より公正で透明度の高い運営をはじめ、ここ数年にわたり準備をしてきた新たな定款や諸規則、職員処遇の改善等、新たな大分県福祉会のスタートを迎えることが出来たことをまずいってご報告申し上げます。

寄せられた信頼と負託に全力で応えてまいります。そこで今年度の大分県福祉会では、役職員の更なる人間力向上と縦横のチームワークの実現に向けたキャリアアップ制度における自己評価制度の

事が無事に竣工いたしました。このことにより、従来の保育園としての機能充実はもちろんのこと、安心安全の向上、地域の子育て拠点としての機能を果たすことが出来るかと確信しております。また各施設に

すること子ども達の食欲を掻き立てている。〇・一・二歳児のクラスでこれまでと違うのが、子どものロッカークラスである。以前はどのクラスも保育室の壁にロッカーがあったが、子どもがロッカーの中の衣服を引っ張り出して遊ぶことが悩みだった。また、子ども達が遊んでいるところへ次々と親子で登園してくると、遊びが中断してしまうという意見もあり、職員で話し合いを重ねた。そして、新園舎ではロッカーを遊びの空間

とは分けて配置することにした。〇・二歳児クラスのロッカーは廊下に配置し、一歳児クラスでは空間が仕切られるように配置した。このように変えたことで、保育室は保育や遊びに専念できる環境となった。新しくなった園舎で、一人ひとりが充実した活動ができるように、今後も保育環



社会福祉法人大分県福祉会 理事長 有松 一郎

## 新たな大分県福祉会のスタート

### より公正で透明度の高い運営を

昨今、社会福祉法人に寄せられる期待の大きさや、対応すべき事象の複雑化を鑑み、これまで以上に、利用児者の幸福の追求はもちろんのこと、社会インフラの一部としての機能充実に対して更なる取り組みが期待されると承知しております。今回の制度改革をバネに、私どもに

確立、ワークライフバランスの取れた笑顔溢れる職場環境整備、安心安全のさらなる追求、地域ニーズへの積極的な取り組み等、私どもの掲げる理念具現化へ向けた取り組みの進化を目指してまいります。その一歩として本年七月、滝尾保育園の改築工

を実現してまいります。最後に今後益々の皆様のご支援・ご協力をいただき、心よりお願い申し上げます。年度当初のご挨拶情報公開に重点を置いた運営

「今日の給食は何かなあ〜」



「今日の給食は何かなあ〜」

